

# 第64回全国消防技術者会議の開催報告

## 消防研究センター

11月16日（水）及び17日（木）の2日間にわたり、第64回全国消防技術者会議が、東京都港区虎ノ門のニッショーホールで開催されました。この会議は、消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表し、消防職員や消防団員を始めとする消防関係者間での意見交換を行う場として、昭和28年より毎年開催されているものです。また、第62回より、「消防防災研究講演会」を同時開催しています。

16日には、特別講演、平成28年度消防防災科学技術賞の表彰式及び消防研究センターにおける研究成果等を発表する第20回消防防災研究講演会を行い、17日には、公募した研究成果の発表5件、平成28年度消防防災科学技術賞受賞作品のうち、消防防災科学に関する論文3件、原因調査に関する事例報告9件の計17件の発表を行いました。また、昼休みに会場ロビーで展示発表（16日：消防防災科学技術賞受賞作品の消防防災機器等の開発・改良10件、17日：一般発表5件）を行いました。2日間で全国から延べ1,000人を超える方々の参加をいただきました。

特別講演では、「災害時の食事—危機管理は健康管理」と題して、甲南女子大学名誉教授の奥田和子氏にご講演頂きました。



写真1 奥田名誉教授による特別講演の様子

救助活動を行う消防職員のための備蓄食には経済的裏付けが必要であること、個人が準備する備蓄食は、ふだん食べなれたもの、おいしいものが良いこと、野菜不足に対する配慮が必要であること、飲み物は水だけでなく、

お茶や野菜ジュース、コーヒー、炭酸飲料も候補になること、お菓子や果物の缶詰などのデザートも心の安定を保つため準備したほうがよいこと、野菜不足に特に配慮が必要であることなどを話されました。また、アルファ化米はお茶、野菜ジュース、清涼飲料等で戻して米飯にできることの紹介に対して活発な質疑応答が行われるなど大変有用な講演となりました。

第20回消防防災研究講演会は、「土砂災害・水害における消防活動」をテーマとし、消防研究センターから「土砂災害時における消防活動上の課題—土砂災害の基礎知識を踏まえて—」、「土砂災害現場における二次災害防止」、「水害時の住民向け広報」、「自然災害時の救助活動に資する資機材の研究開発」について発表しました。また、大阪市消防局から「土砂災害現場における消防捜索活動について」と題して、平成28年4月に発生した熊本地震における活動について、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部から「平成27年9月関東・東北豪雨における常総市水害対応」について発表がありました。

次回の全国消防技術者会議の開催に関しましては、決定次第、消防研究センターホームページ (<http://nrifd.fdma.go.jp/>) 等によりご案内させていただく予定です。



写真2 消防防災研究講演会の様子

### 問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室  
TEL: 0422-44-8331 (代表)